

[illegible]

今後の施策

項目 2 知 育		自己評価	
学校の取組概要	【学びイキキ：主体的に学習に向かう子ども】	中間	年末
	(1) 「国語科」を研究教科とした校内研修の推進 (研究主題)「子どもの『分かる・できる』に寄り添う教育をめざして」 ～みんなで見つける みんなでひろげる みんなでつくる～		
	(2) 学習習慣の定着に向けた指導 ・「清鷹の学び」「学習の約束」「清鷹の振り返り」の共通実践 ・学習強調月間の設定 *「先生は勉強を分かりやすく教えてくれる」(98→99%) (児童) *「学校は子どもたちの学力向上のため努力している」(95%→95%) (保護者) *「基礎的な内容の定着と学習習慣の施策が適切に実践されている」(3.38→3.31) (教職員)	4 ・ 3	4 ・ 3
	(3) 自ら学ぶ意欲と態度の育成 ・効果的な家庭学習(宿題・自主学習)の指導 ・ノート展の実施 *「宿題や家庭学習に毎日取り組んでいる」(98%→97%) (児童) *「家庭学習の習慣が身に付き、進んで学習に取り組んでいる」(80%→82%) (保護者)	2 ・ 1	2 ・ 1
	(4) 個に応じ、個の力を伸ばすための支援 ・児童の考えを生かす学び合い(発表レベルアップ表) ・全学年算数TTによる個に応じた支援の工夫 ・ICT(タブレット)の活用 *「研究主題に基づいた組織的な校内研修が推進されている」(3.63→3.69) (教職員) *「授業改善が進められている」(3.31→3.38) (教職員) *「ICTを活用した教育活動を推進している」(3.44→3.63) (教職員)		
	(5) 朝学習の活用 【火…漢字 水…計算(7年部の協力)、木…読書・音読】 *「算数科を中心に少人数指導や朝学習の実践により基礎・基本の定着が図られている」(3.50→3.25) (教職員)		
	委員の意見等	関係者評価 4 3 2 1	
	今後の施策	・学級懇談や個人面談、PTA全体会などの機会を通して、学習面から見た本校の児童の様子を伝え、保護者に協力を呼びかけていきたい。また、朝学習でのドリル学習を全学年確実に取り組むようにしていきたい。 ・算数を中心に、授業時間内に、練習問題に取り組む時間を確実に確保できるような授業づくりをおこなう。	
項目 3 徳 育		自己評価	
学校の取組概要	【心ワクワク：思いやりの心もち、共に高まろうとする子ども】	中間	年末
	(1) 規範意識をもち、楽しい学校生活を送ろうとする児童の育成 ・「清鷹っ子の学校生活のきまり」の共通理解、共通実践		
	(2) 児童理解に基づく指導や支援の充実 ・学校適応調査「アセス」の実施や「Ho(ほめる) K(聞く) U(促す)」の共通実践		
	(3) 人権教育の推進(多様性を育む) ① 他校との交流活動(4年・全校:比内支援たかのす校) ② 認知症サポート講座、幼保小架け橋プログラム	4 ・ 3	4 ・ 3
	(4) 自己有用感を高める取組※振り返りの充実(がんばりを認める、ほめる) ① 学級目標の設定、異学年交流(縦割り班集会、清鷹ウォークラリー、スノーフェスティバル) ② 当番・係活動の工夫、道徳コーナーの設置 ③ あいさつ(児童総会、あいさつ運動、校内あいさつロードなど)	2 ・ 1	2 ・ 1
	(5) 不登校、いじめ等学校不適応への対応 ① 児童支援担当を中心とした相談活動により、早期発見・早期対応に努める ② 「いじめアンケート」や学校適応調査(アセス)の活用		

	* 「学級の友だちとなかよく、楽しく生活している」 (97%→97%) (児童) * 「相手の気持ちを考え思いやりの心をもって生活している」 (97%→96%) (児童) * 「子どもたちのよさを認めながら、自己有用感を高める活動をしている」 (98%→98%) (保護者) * 「保護者からの連絡や相談に適切に対応している」 (94%→96%) (保護者) * 「「Hoku」を基本姿勢に共感的な児童理解が進められている」 (3.50→3.63) (教職員) * 「異学年交流活動を通して互いに認め合い高め合う心を育む取組がなされている」 (93%→96%) (教職員)		
委員の意見等	・ あいさつは、本当によくなった。今日も元気に私たちを迎えてくれた。 ・ 縦割りの活動は、人のかかわりが薄くなってきている時代だからこそ、とても大切だと思う。ぜひ、続けてほしい。 ・ 不登校に関しては、先生方はすごく心配していると思うが、学校での楽しみや目標が見つかる、自然に行けるようになる。	関係者評価	④ 3 2 1
今後の施策	・ 異学年交流（縦割り班活動）は、来年度も重点として取り上げていきたい。活動が、自己有用感につながるよう、振り返りや認め合う場を工夫していきたい。 ・ 他者（学級担任以外）から認められたり、褒められたりする機会を多くしていきたい。		
項目	4 体育・健康教育		
学校の取組概要	【体イキキ：心身ともに健康で、粘り強くがんばる子ども】 (1) 【体育指導】 体力作りと運動意欲の高揚 ① 季節や実態に合わせた業間活動や外遊びメニューの工夫 ② 体育の時間の準備運動の充実 (2) 【保健指導】 自分の健康状態への関心と必要な知識や態度を身に付けさせる ① むし歯予防や肥満傾向の児童への指導並びに「食」に関する指導 ② 学校保健委員会やPTA研修会（正しい姿勢）の実施 (3) 【清掃指導】 全校縦割り班清掃により、協力し合って清掃に取り組む習慣作り (4) 【給食指導】 望ましい食習慣の形成と感謝の心の育成 ① 栄養教諭による「食」の授業の実施 ② バランスのとれた食事の指導 ③ 1年生保護者給食試食会 (5) スポ少活動の奨励、協力 * 「早寝早起き、朝ご飯をがんばっている」 (83%→88%) (児童) * 「苦手な物でも食べるようにがんばっている」 (90%→87%) (児童) * 「早寝早起き、朝ご飯を自分から心がけて生活している」 (86%→82%) (保護者) * 「体力づくりや食育指導を通して心身共にたくましい子どもの育成に取り組んでいる」 (3.31→3.50) (教職員) * 「児童の体力向上に向けた取組が行われている」 (3.31→3.38) (教職員)	自己評価	④ 3 2 1
委員の意見等	・ 運動の機会の二極化、バス通学などから、体力の低下は心配されるので、日常的に体を動かす環境づくりを今後も進めてほしい。2年生は体育の授業であったが、みんな裸足で壁倒立に挑戦していて、すごかった。 ・ 新入生体験入学で、給食試食会を行ってくれていることは、給食を楽しく、しっかり食べる1年生を目指すという上でも、とてもありがたい。入学への期待も高まり、架け橋にもつながる。 ・ スキー授業を復活させてくれて、本当にうれしかった。みんな、果敢に滑っていた。	関係者評価	④ 3 2 1
今後の施策	今後も、全校が外に出て遊ぶ「ぼかぼかタイム」やホールや体育館の意図的な体力UPコーナーの設置を継続していきたい。自己有用感を高める活動にもつながるが、縦割り班での長縄跳びがとてもよかったので、今年度より機会を増やしていきたい。		